

第7章 立地適正化計画

1. 「立地適正化計画」とは

人口減少や少子高齢化をはじめとした様々な課題の対応策の一つとして、都市再生特別措置法に基づき、人口、土地利用や交通の現状及び将来の見通しを勘案しながら、都市計画区域の中でも特に居住を誘導して人口密度を一定以上に維持する居住誘導区域と都市機能の誘導を図る都市機能誘導区域を設定するとともに、その誘導のために講ずべき施策等を定めることを目的としており、根室市の「立地適正化計画」は令和7年度に策定しました。

2. 「立地適正化計画」の内容

立地適正化計画は、都市計画マスタープランの一部とみなされるため、「根室市都市計画マスタープラン」と歩調を合わせ、「根室市立地適正化計画」の計画期間の終期を令和28年度としました。

「根室市都市計画マスタープラン」における将来都市像を踏まえ、「根室市立地適正化計画」が担う部分を明確化させることにより、まちづくり方針を「総合型のまちづくり政策の推進による賑わい溢れる、快適で安全安心なコンパクトシティの実現」とします。

まちづくりの基本目標は、「根室市都市計画マスタープラン」の基本目標（4つの視点）のうち、「心やすらぐ安全で安心なまちづくり」「賑わい溢れる快適で便利なまちづくり」の2つを「根室市立地適正化計画」で担う基本目標とします。

また、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減し、都市の防災に関する機能を確保するため、防災指針を定めます。

居住誘導区域、都市機能誘導区域の面積と割合

区 域	面 積	割 合
用 途 地 域	1, 254.1 ha	100.0%
居 住 誘 導 区 域	644.3ha	51.4%
都 市 機 能 誘 導 区 域	115.7ha	9.2%